

## 第4学年5組 算数科学習指導案

場所 4年2組教室

1 単元（題材） 垂直・平行と四角形（本時7／14）

2 本時の目標

- (1) 台形と平行四辺形について、理解している。（知識・技能）
- (2) 辺の平行に着目して、色々な四角形を仲間分けしようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

3 主体的な学びに向かうための手だて

- ・まずは自分で考え、分からなかったら近くの友達に聞くことができるよう、机をチーム隊形にする。
- ・四角形を実際を書いて考えることができるよう、教科書171ページのカードを用いる。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (7)	1 教科書の問題文を読み、四角形をカードに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形のカードを黒板に貼る。</li> <li>・残ったカードには教科書に載っている四角形とは違うものを書くよう指示する。</li> </ul>
課題 (1)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     辺の平行に目をつけて、四角形を調べよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を板書する。</li> </ul>
展開 (32)	3 課題に対する考えをノートに書く。 ・(あ)は、平行な辺が1組あるよ。 ・(い)は、平行な辺が2組あるね。 4 平行な辺の組の数に着目して、四角形を仲間分けする。 ・平行な辺が1組あるから(あ)(え)はなかまだね。 ・平行な辺が2組あるから(い)(お)はなかまだね。 ・(う)は平行な辺がないね。 5 「台形」「平行四辺形」について知る。 ・(あ)(え)は平行な辺が1組あるから、台形だね。 ・(い)(お)は平行な辺が2組あるから、平行四辺形だね。 6 課題に対するまとめをしてから、適応問題を解く。 ・何組の辺が平行か考えれば、仲間分けができるよ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行関係が視覚的に把握しやすいように、カードに書いた四角形の平行な辺に色を塗るよう指示する。</li> <li>・前時で学んだ方眼を使って調べた方法と同様にして、平行関係を調べるように支援する。</li> <li>・<u>まずは子供たちが自分の力で取り組むことができるよう様子を見る。問題につまづいている児童には、個別で対応する。</u></li> <li>・<u>自分の考えを説明しやすくするためにノートを使ってもよいことを指示する。</u></li> <li>・問題を解くことができた児童から、チーム内の児童に、必要であればヒントを与えたり、丸付けをしたりしてもよいということを伝える。</li> <li>・問題につまづいている児童には、平行関係にある辺がいくつあるか調べるように支援する。</li> </ul>
整理 (5)	7 本時の振り返りをする。 ・台形と平行四辺形の仲間分けができた。 ・友達に教えてもらって、仲間分けをすることができたよ。次は自分でぜんぶやってみたいな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと、友達のよかったところ、これから学びたいことを中心に書くよう指示する。</li> </ul>

5 評価

(1) 辺の平行に着目して、四角形を仲間分けのしかたを考えたことができたか。

(活動3, 4の様子から)

(2) 台形と平行四辺形について、知ることができたか。

(活動5, 6の様子から)